

第1学年 音楽科学習指導案

題材名「日本に古くから伝わる音楽のよさや美しさを味わって聴こう」

教材「雅楽「平調 越天楽」-管弦-」 作曲：不詳

〇〇〇〇中学校  
場所 音楽室  
第1学年 〇組  
指導者〇〇〇〇

1. 題材の目標

- (1) 雅楽「平調 越天楽」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。  
【知識及び技能】
- (2) 雅楽「平調 越天楽」の音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。  
【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 雅楽「平調 越天楽」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。  
【学びに向かう力、人間性等】

2. 学習指導要領との関連及び〔共通事項〕(指導事項と共通事項)

指導事項 「B 鑑賞」(1) 鑑賞

ア(ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。

イ(イ) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解すること。

〔共通事項〕

ア 音色、リズム、旋律、テクスチャ

イ 拍、間

3. 指導にあたって (学ばせたい事項の理由・意図)

・題材観・教材観

本題材は、我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことをねらいとして設定した。

教材としては雅楽「平調 越天楽」を選択する。雅楽は、6～8世紀に中国をはじめアジア各地から伝えられた様々な音楽が、古来、日本で行われてきた歌舞と結び付き形づくられた日本独自の音楽であり、我が国の伝統音楽の中でも、今なお神社仏閣や式場などで耳にする機会のある音楽である。独自の音色の重なりや、指揮者を有しない演奏形態などから生まれる拍感特徴的であり、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素を、音色、リズム、旋律、テクスチャとすることで、我が国の伝統音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる教材であると考え。また、用語としては拍、間を扱うこととする。

・生徒観(略)

#### 4. 題材(単元)の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【知】雅楽「平調 越天楽」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。	【思】音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	【態】音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

#### 5. 指導と評価の計画(全2時間)

時	ねらい ○学習内容・学習活動	知・技	思	態
1 本時	雅楽「平調 越天楽」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。			
	○教科書p52の冒頭部分を聴き、気づいたことを述べ合う。 ・雅楽「平調 越天楽」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりを理解しながら、曲のよさや美しさについて自分なりの考えをもつ学習を行うことを知る。 ○音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。 ・雅楽について知る。 ・用いられる楽器を確認する。 ・冒頭部分を聴き、音色、リズム(拍、間)、旋律、テクスチャ(音の重なり方)などの特徴について気付いたことや感じたことをまとめ、グループで話し合う。 ・全曲を通して聴き、冒頭部分についてまとめたことを参考に、曲のよさや美しさについて自分の考えをまとめる。	【知①】 ワークシート	【思①】 観察・ワークシート	【態】 観察
2	雅楽「平調 越天楽」の音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。			

	<p>○前時の復習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冒頭部分を聴く。</li> </ul> <p>○曲の拍と間について、体験を通して理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「『越天楽』唱歌を歌おう」に取り組み、拍を体験する。</li> <li>・唱歌を歌い、曲中の間を体験する。</li> <li>・範唱に合わせて唱歌を歌う。</li> </ul> <p>○全曲を通して聴き、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全曲を通して聴き、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考えたことをワークシートに書く。</li> <li>・自分の考えを発表し合い、曲のよさや美しさについて学級全体で共有する。</li> <li>・他者の意見も参考にして、曲のよさや美しさについて自分の考えをまとめ、完成させる。</li> </ul>		【思②】 ワークシート	【態】 観察
--	---	--	----------------	-----------

## 6. 本時の目標

雅楽「平調 越天楽」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解しよう

## 7. 本時の展開(1/2時間)

<input type="checkbox"/> ねらい ○学習内容・学習活動		<b>■指導者の発問・支援</b>  ※予想される生徒の姿(重要)	評価規準と評価方法		
			知・技	思	態
導入	<p>○教科書p52の冒頭部分を聴き、気づいたことを述べ合う。</p>	<p>■「どこの国か」「なぜそう思ったか」について考える。</p> <p>※日本とかアジアだと思う。和楽器の音がするから。遅いから昔っばい。等</p>			
雅楽「平調 越天楽」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解しよう					
展開	<p>・雅楽「平調 越天楽」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりを理解しながら、曲のよさや美しさについて自分なりの考えをもつ学習を行うことを知る。</p> <p>○音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。</p>	<p>■雅楽の歴史を紹介する。</p>	知 ↑ ワークシート ↓		

	<p>・p50～51「日本雅楽入門」の雅楽に関する部分や、p52「雅楽」、p55「平安時代の貴族と雅楽」を読み、雅楽について知る。</p> <p>・用いられる楽器を確認する。</p> <p>・冒頭部分を聴き、音色、リズム（拍、間）、旋律、テクスチャ（音の重なり方）などの特徴について気付いたことや感じたことをまとめ、グループで話し合う。</p> <p>・全曲を通して聴き、冒頭部分についてまとめたことを参考に、曲のよさや美しさについて自分の考えをまとめる。</p>	<p>雅楽に関心をもち、イメージを思い浮かべながら聴けるように、使われている楽器や雅楽に関する写真を提示し、演奏されている場所や場面を問いかける。</p> <p>■映像を視聴し、楽器の種類や音色を確認する。</p> <p>■どんなところが「よさ、美しさ」だと実感できたか。</p> <p>※楽器の重なり方、拍感について、各楽器の音色、それぞれ聞き取った内容から得られた雰囲気など。</p> <p>※西洋の音楽とは異なり、一つ一つの楽器が重なっていくように旋律が演奏されている。ずれているのが自然な感じがする。それを利用してあえて音をためて出しているところがあり、余韻を感じる。音楽には貴族の豪華な暮らしなど、その時代背景が反映されていると感じた。など。</p>		<p>思 （観察） （ワークシート）</p>	
<p>まとめ</p>	<p>・振り返りを記入する。</p>				